

別紙 2 1 場外維持管理対象の概要

種別	名称	標高及び水位	数量	単位	形状寸法	位置
取水施設	1)清里水源 2号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 375~275×137m 水中モーターポンプ 125×2.1m ³ /分×29.0m×18.5kW×1台	熊本県荒尾市大字牛水1830
	2)清里水源 3号取水井	-	1	井	深井戸 SUS 300~100×138m 水中モーターポンプ 100×1.4m ³ /分×24.0m×11kW×1台	熊本県荒尾市大字水野704-1
	3)清里水源 11号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 350~400×182m 水中モーターポンプ 125×2.4m ³ /分×36.0m×22kW×1台	熊本県荒尾市大字水野45
	4)清里水源 1号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 350~400×153m ポンプ 50×200 ^{リットル} /分×10.0m×1.5kW×1台	熊本県荒尾市大字牛水144-2,3
	5)清里水源 4号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 400×139m ポンプ 50×200 ^{リットル} /分×10.0m×1.5kW×1台	熊本県荒尾市大字水野110-1
	6)清里水源 6号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 200×145m ポンプ 50×200 ^{リットル} /分×10.0m×1.5kW×1台	熊本県荒尾市大字水野187
	7)清里水源 7号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 400×80m ポンプ 50×200 ^{リットル} /分×10.0m×1.5kW×1台	熊本県荒尾市大字水野240-1
	8)清里水源 9号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 400×114m ポンプ 50×200 ^{リットル} /分×10.0m×1.5kW×1台	熊本県荒尾市大字水野187
	9)清里水源 10号取水井	-	1	井	深井戸 SGP 400×116m ポンプ 50×200 ^{リットル} /分×10.0m×1.5kW×1台	熊本県荒尾市大字水野79
導水施設	清里総合ポンプ場 1)調整池	HWL+4.208 LWL+0.458	1	池	R C造 10.5m×14.0m×3.75m C=500m ³ 残留塩素モニター 流量計、防犯設備	熊本県荒尾市大字水野45
	2)導水ポンプ	-	3	台	電動機直結渦巻ポンプ 200×100×4.0m ³ /分×70m×75kW×3台	
	3)滅菌設備 (次亜塩素酸ナトリウム)	-	2	台	注入ポンプ Q=0~100cc 3 200V 0.4kW	
	4)非常用自家発電設備	-	1	基	480HPディーゼルエンジン直結 交流発電機 6,600V 375kw 900rpm 重油タンク3110 ^{リットル}	
送水施設	四箇ポンプ場 (1)受水設備	GL+33.000	54	m	流入管DIP 150	福岡県大牟田市 大字上内字養徳寺1559-1
			1	台	水位調整弁 150(陸上フポート式)	
			1	台	電磁流量計 100	
	(2)受水ポンプ井	HWL+35.000 LWL+32.000	2	池	R C造 3.6m×4.7m×H3.0m C=100m ³	
	(3)滅菌設備 (次亜塩素酸ナトリウム)	GL+32.100	2	台	液中ポンプ方式 1.3~0.7m ³ /時(内1台予備)	
			2	槽	タンク容量500 ^{リットル} (内1槽予備)	
(4)塩素滅菌室	GL+32.100	1	室	R C造 8.10m×4.90m 床面積39.69m ²		
(5)送水ポンプ設備	GL+32.300	2	台	水中ポンプ 65×0.4m ³ /分×94.6m×15kW (内1台予備)		
(6)ポンプ室	GL+32.300	1	室	R C造 8.10m×6.10m 床面積49.41m ² 残留塩素モニター、流量計		

種別	名称	標高及び水位	数量	単位	形状寸法	位置
送水施設	(7)電気室	GL+32.300	1	室	R C 造 電気室 8.10m×5.45m 床面積44.15㎡	福岡県大牟田市 大字岬1969-4
	加圧ポンプ場 (1)黒崎団地加圧 ポンプ場	HWL+19.100 LWL+16.100 CL+15.800	2	槽	受水槽 R C 造 C=208.8m ³ ×2槽	
			2	台	多段渦巻ポンプ 80×0.7m ³ /分×64m×15kW×2台(内1台非常用エンジン付) 残留塩素モニター	
(2)稲荷山団地 ポンプ場	HWL+34.800 LWL+33.200	1	基	F R P 製 パネル式 3m×3m×H2m×1基	福岡県大牟田市 大字岩本2857-91	
		2	台	立型多段渦巻ポンプ 40×0.22m ³ /分×70m×5.5kW×1台 40×0.1m ³ /分×110m×5.5kW×1台		
配水施設	1)延命配水池	HWL+56.500 LWL+46.500	1	池	P C 造 30.2m×H10.0m C=7,000m ³ 7項目水質モニター(濁度、色度、残留塩素、 温度、pH、電気伝導率、水圧)、水位モニター 流量計、防犯設備	福岡県大牟田市昭和町144
	2)勝立配水池	HWL+93.000 LWL+85.000	1	池	P C 造 30.7m×H8.0m C=5,400m ³ 地震計、緊急遮断弁 水質モニター(濁度、残留塩素、pH) 水位モニター、流量計、防犯設備	福岡県大牟田市 大字襟野字鈴ヶ宇土3207-7
	3)甘木配水池	HWL+85.000 LWL+75.000	1	池	P C 造 32.6m×H8.6m C=10,000m ³ 残留塩素モニター、水位モニター、流量計	福岡県大牟田市 大字甘木1203
	4)四箇配水池 (1)四箇配水池 配水池(上部)	HWL+120.000 LWL+116.000	1	池	P C 造 内径15.0m×H6.0m C=1,000m ³	福岡県大牟田市 大字四箇字峠2-1、2-5
			1	室	R C 造 内径15.0m 床面積24.00㎡ 残留塩素モニター、流量計	
5)稲荷山団地配水池	HWL+101.3 LWL+99.1	2	槽	配水池 パネル式 5m×3m×H3m×2基	福岡県大牟田市 大字上内3668-10	
水質モニター	天領水質モニター		1	基	4項目(濁度、色度、残留塩素、温度)	福岡県大牟田市 天領町2丁目36-1
	銀水水質モニター		1	基	4項目(濁度、色度、残留塩素、温度)	福岡県大牟田市 大字草木字常田209-1
	笹原水質モニター		1	基	4項目(濁度、色度、残留塩素、温度)	福岡県大牟田市 笹原町2丁目87-1
	四箇中尾水質モニター		1	基	7項目(濁度、色度、残留塩素、温度、 pH、電気伝導率、水圧)	福岡県大牟田市 四箇新町3丁目10
	湯谷水質モニター		1	基	4項目(濁度、色度、残留塩素、温度)	福岡県大牟田市 大字四箇1486-7

別紙 2 2 建設工事で予定している財源内訳及びアロケーション割合

1) 財源の構成

建設工事の財源は次のとおりである。

$$\text{事業費} = \text{国庫補助金} + \text{企業債} + \text{自己資金}$$

2) 財源の内訳

(1) 国庫補助金

補助区分

閉山炭鉱水道整備費

閉山炭鉱水道整備費

国庫補助基本額の 1 / 3 を国庫補助金とする。

・大牟田市

$$\text{国庫補助金} = \text{国庫補助基本額} \times 1 / 3$$

$$\text{国庫補助基本額} = \text{国庫補助対象事業費} \times 0.763$$

$$\text{国庫補助対象事業費} = \text{総事業費} - \text{単独事業費}$$

国庫補助対象比率は次のとおり。

$$\text{共同浄水場} \quad 18,000\text{m}^3 / \text{日}$$

$$\text{補助対象水量} \quad 13,738\text{m}^3 / \text{日}$$

$$\text{国庫補助対象比率} \quad 13,738(\text{m}^3 / \text{日}) \div 18,000(\text{m}^3 / \text{日}) = 0.763 \quad 76.3\%$$

$$\text{単独事業分} \quad 23.7\%$$

・荒尾市

$$\text{国庫補助金} = \text{国庫補助基本額} \times 1 / 3$$

$$\text{国庫補助基本額} = \text{国庫補助対象事業費} \times 1.00$$

$$\text{国庫補助対象事業費} = \text{総事業費} - \text{単独事業費}$$

(2) 企業債

総事業費から自己資金及び国庫補助金を除いた残りは全て企業債とする。(10万円以下の端数は自己資金とする。)

3) アロケーション割合

建設費のアロケーションは次のとおりとする。

施 設		種 別	アロケーション割合	
			大牟田市	荒尾市
土木・建築 施設	導水管	共同	0.556	0.444
	浄水施設等	共同	0.714	0.286
	送水管(延命・勝立送水)	大牟田単独	1.000	0.000
	送水管(中央水源地)	荒尾単独	0.000	1.000
機械設備	膜ろ過設備	共同	0.714	0.286
	薬品注入設備	共同	0.714	0.286
	排水処理設備	共同	0.714	0.286
	送水ポンプ(延命・勝立送水)	大牟田単独	1.000	0.000
	送水ポンプ(中央水源地)	荒尾単独	0.000	1.000
電気設備	電気設備(自家発電含む)	共同	0.714	0.286
	計装設備	共同	0.714	0.286
	遠方監視設備(大牟田市施設)	大牟田単独	1.000	0.000
	遠方監視設備(荒尾市施設)	荒尾単独	0.000	1.000

導水管のアロケーション割合

菊池川系の計画導水量は、大牟田市が 20,000m³/日、荒尾市が 8,000m³/日の計 28,000 m³/日であるが、大牟田市は既に 10,000m³/日の導水能力を有しているため、全導水量から 10,000m³/日を除いた残りの導水量比率で按分する。

アロケーション対象水量 28,000 - 10,000 = 18,000m³/日

大牟田市負担割合 10,000 ÷ 18,000 = 0.556

荒尾市負担割合 8,000 ÷ 18,000 = 0.444

導水管以外の共同施設のアロケーション割合

計画浄水量で按分する場合の比率は次のとおりとする。

アロケーション対象水量 26,040m³/日

大牟田市負担割合 18,600 ÷ 26,040 = 0.714

荒尾市負担割合 7,440 ÷ 26,040 = 0.286

別紙 2 3 宮原浄水場及び上の原浄水場原水水質等

表 1 (1) 宮原浄水場原水 (菊池川系) 水質 (平成 15 年度 ~ 19 年度実績)

区分	項目名	単位	基準値 目標値	菊池川系原水(着水井)			
				最高	最低	平均	回数
	水温			30.0	9.0	18.7	60
水質基準項目	1 一般細菌	集落数/mL	100集落/mL以下	1,600	40	436	60
	2 大腸菌	-	検出されないこと	(注1)48回	(注1) 0回	-	48
	3 カドミウム及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	46
	4 水銀及びその化合物	mg/L	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	38
	5 セレン及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	46
	6 鉛及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	38
	7 ヒ素及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	46
	8 六価クロム化合物	mg/L	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	46
	9 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	37
	10 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	10mg/L以下	2.2	0.8	1.6	60
	11 フッ素及びその化合物	mg/L	0.8mg/L以下	0.29	<0.08	0.17	60
	12 砒素及びその化合物	mg/L	1.0mg/L以下	0.11	0.02	0.06	46
	13 四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	59
	14 1,4-ジオキサン	mg/L	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	27
	15 1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	59
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	59
	17 ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	59
	18 テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	19 トリクロロエチレン	mg/L	0.03mg/L以下	<0.003	<0.003	<0.003	59
	20 ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	21 塩素酸	mg/L	0.6mg/L以下	-	-	-	0
	22 クロ酢酸	mg/L	0.02mg/L以下	-	-	-	0
	23 クロホルム	mg/L	0.06mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	24 ジクロ酢酸	mg/L	0.04mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	9
	25 ジプロモクロロメタン	mg/L	0.1mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	26 臭素酸	mg/L	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	20
	27 総トリハロメタン	mg/L	0.1mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	28 トリクロ酢酸	mg/L	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	9
	29 プロモジクロロメタン	mg/L	0.03mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	30 プロモホルム	mg/L	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	59
	31 ホルムアルデヒド	mg/L	0.08mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	9
	32 亜鉛及びその化合物	mg/L	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	46
	33 アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.2mg/L以下	0.81	0.09	0.30	46
	34 鉄及びその化合物	mg/L	0.3mg/L以下	0.31	0.04	0.16	46
	35 銅及びその化合物	mg/L	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	46
	36 ナトリウム及びその化合物	mg/L	200mg/L以下	16.7	4.9	12.1	60
	37 マンガン及びその化合物	mg/L	0.05mg/L以下	0.032	0.004	0.015	46
	38 塩化物イオン	mg/L	200mg/L以下	15.9	5.1	9.2	60
	39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	300mg/L以下	58.1	36.6	47.2	60
	40 蒸発残留物	mg/L	500mg/L以下	149	62	114	60
	41 陰イオン界面活性剤	mg/L	0.2mg/L以下	0.04	<0.02	<0.02	36
	42 ジェオスミン	mg/L	0.0001mg/L以下	0.000008	<0.000001	0.000002	33
	43 2-メチルイソホルネオール	mg/L	0.0001mg/L以下	0.000008	<0.000001	0.000002	33
	44 非イオン界面活性剤	mg/L	0.02mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	25
	45 フェノール類	mg/L	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	37
	46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	5mg/L以下	2.27	0.50	1.20	57
	47 pH値	-	5.8以上8.6以下	7.74	6.93	7.46	60
	48 味	-	異常でないこと	-	-	-	0
	49 臭気	-	異常でないこと	(注2)60回	(注2) 0回	-	60
	50 色度	度	5度以下	19.3	3.1	6.4	60
	51 濁度	度	2度以下	7.30	1.13	3.50	60

(注 1) 大腸菌の結果は、最高欄に検出回数を示し、最低欄に未検出回数を示した。

(注 2) 臭気の結果は、最高欄に何らかの臭気が検出された回数を示し、最低欄に異常なしの回数を示した。

表1(2) 宮原浄水場原水(菊池川系)水質(平成15年度~19年度実績)

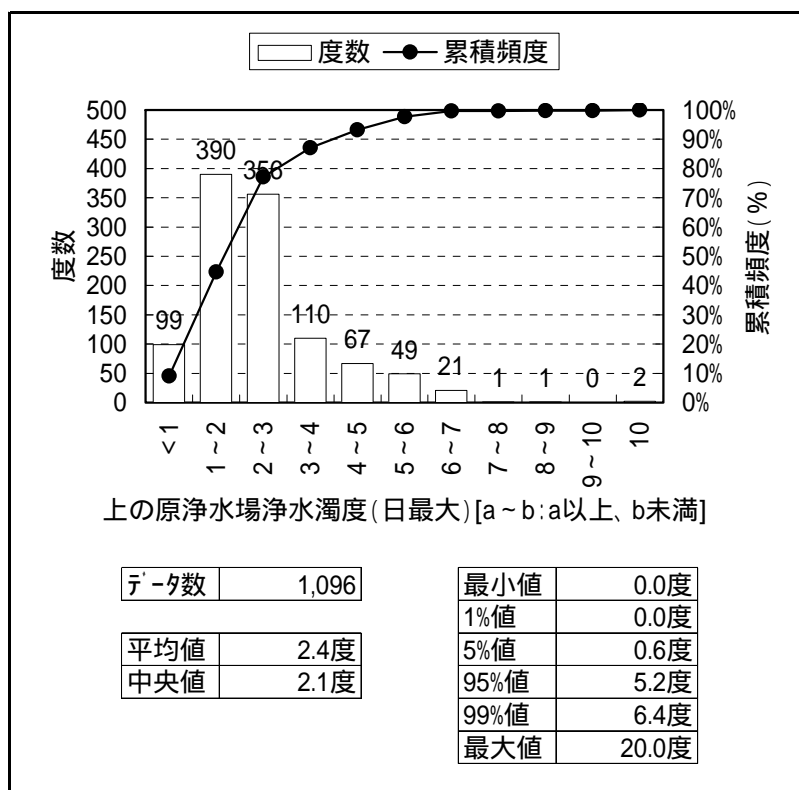
区分	項目名	単位	基準値 目標値	菊池川系原水(着水井)				
				最高	最低	平均	回数	
水質管理目標設定項目	101	アンチモン及びその化合物	mg/L	0.015mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	46
	102	ウラン及びその化合物	mg/L	0.002mg/L以下(暫定)	0.0003	<0.0002	0.0002	46
	103	ニッケル及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下(暫定)	0.002	<0.001	<0.001	46
	104	亜硝酸態窒素	mg/L	0.05mg/L以下(暫定)	0.036	<0.005	<0.005	60
	105	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	59
	106	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	59
	107	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	59
	108	トルエン	mg/L	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	59
	109	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/L	0.1mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	24
	110	亜塩素酸	mg/L	0.6mg/L以下	-	-	-	0
	111	二酸化塩素	mg/L	0.6mg/L以下	-	-	-	0
	112	ジクロロアセトリル	mg/L	0.04mg/L以下(暫定)	<0.001	<0.001	<0.001	9
	113	抱水コロラル	mg/L	0.03mg/L以下(暫定)	<0.001	<0.001	<0.001	9
	114	農薬類	-	検出値と目標値の比の和として1以下	(注3) 0.06	(注3) <0.01	(注3) <0.01	31
	115	残留塩素	mg/L	1mg/L以下	-	-	-	0
	116	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	10mg/L以上100mg/L以下	58	37	47	60
	117	マンガン及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	0.032	0.004	0.015	46
	118	遊離炭酸	mg/L	20mg/L以下	4.10	0.61	1.54	60
	119	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3mg/L以下	<0.03	<0.03	<0.03	59
	120	メチル-t-ブチルエーテル	mg/L	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	47
	121	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/L	3mg/L以下	9.1	2.2	3.9	60
	122	臭気強度(TON)	-	3以下	6	1	3	60
	123	蒸発残留物	mg/L	30mg/L以上200mg/L以下	149	62	114	60
	124	濁度	mg/L	1度以下	7.30	1.13	3.50	60
	125	pH値	-	7.5程度	7.7	6.9	7.5	60
	126	腐食性(ランゲリア指数)	-	-1程度以上とし、極力0に近づける	-0.7	-2.1	-1.3	60
	127	従属栄養細菌	集落数/mL	2,000集落/mL以下(暫定)	-	-	-	0
その他	201	アンモニア態窒素	mg/L		0.09	<0.01	<0.01	60
	202	総アルカリ度	mg/L		56.3	24.8	46.6	60
	203	侵食性遊離炭酸	mg/L		2.0	<0.1	0.8	48
	204	紫外線吸光度(E260)	abs		0.332	0.073	0.136	48
	205	電気伝導率	μS/cm		195	111	159	60
	206	臭化物イオン	mg/L		<0.1	<0.1	<0.1	60
	207	総トリハロメタン生成能	mg/L		0.064	0.014	0.030	60

(注3) 農薬類については、流域での使用実態等を踏まえて6月~9月は毎日分析を行っている。平成16年度~19年度の結果は以下のとおりである。

最高：0.84 最低：<0.01 平均：0.05

平成21年4月1日施行予定の「水質基準に関する省令」等の一部改正に対応したものとし、入札公告書類等で改めて示す。

(日最大)



(日最小)

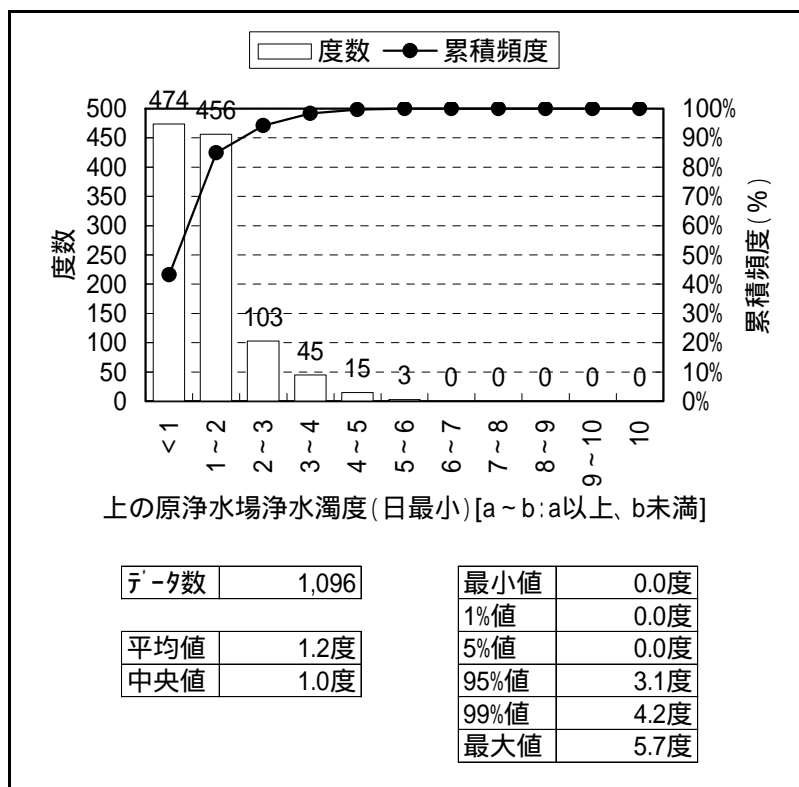
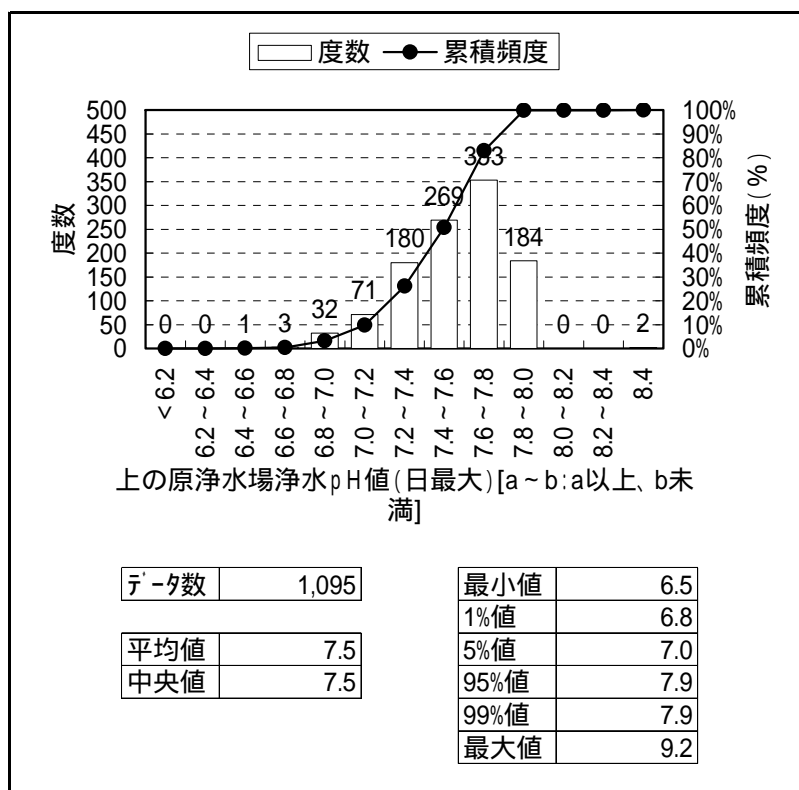


図 1 上の原浄水場浄水濁度の頻度分布 (平成 17 年度 ~ 19 年度の毎日データ)

(日最大)



(日最小)

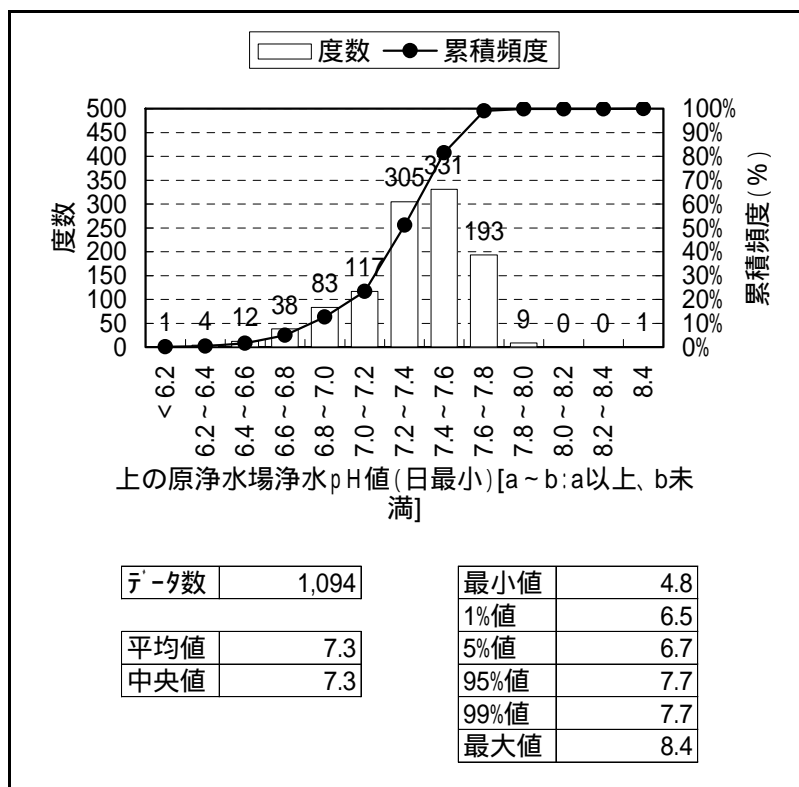
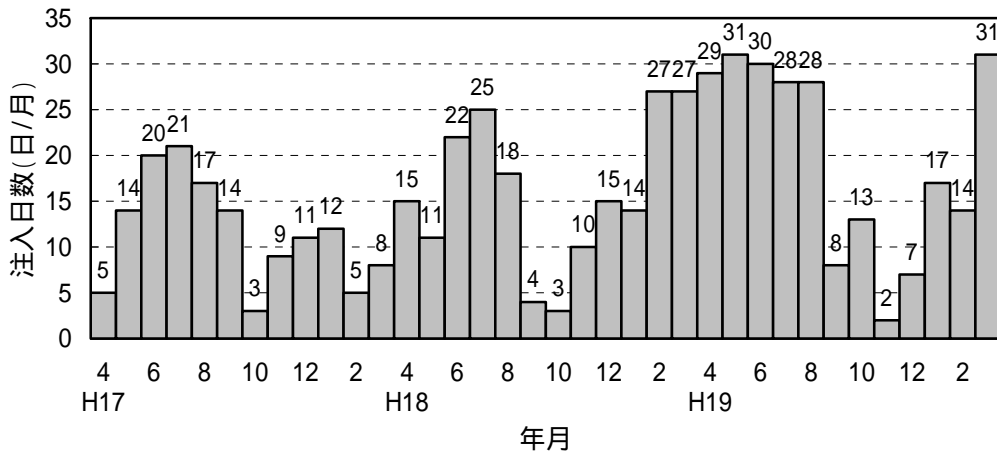
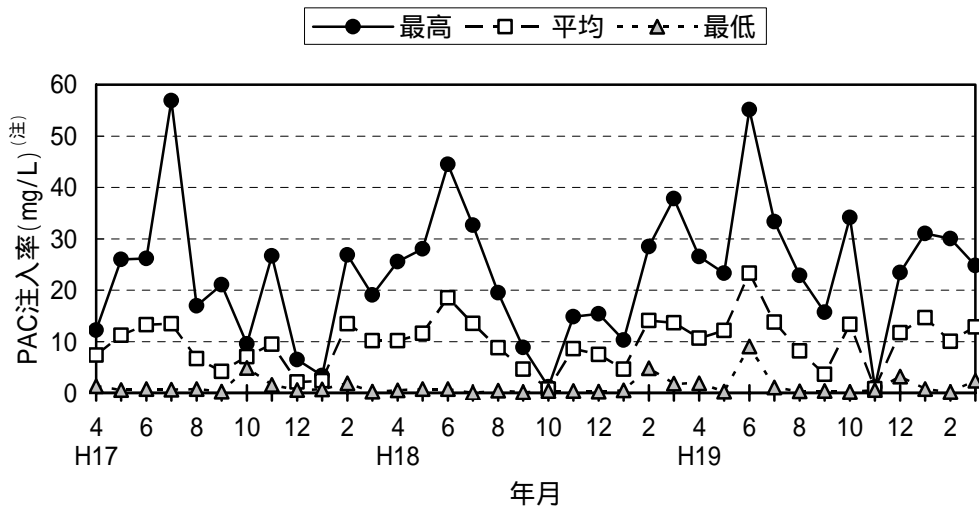


図2 上の原浄水場浄水pH値の頻度分布(平成17年度~19年度の毎日データ)

(注入日数)



(注入率^(注))



(注) 注入率 = 日間注入量 ÷ 日間取水量 にて算出した。
平均及び最低は、PAC を注入していない日を除いて集計したものである。

図3 上の原浄水場における PAC 注入実績* (平成 17 年度～19 年度の毎日データ)

*上の原浄水場では、浄水濁度の目標を 3 度としており、原水濁度が高い場合のみ PAC による凝集沈澱処理を行っている。

別紙 2 4 大牟田市及び宮原浄水場の現状

水量及び残塩管理の現状は次表に示すとおりである。

表 - 1.1 水量管理の現状

系 統	内 容
福岡県南広域水道企業団	<ul style="list-style-type: none"> ・甘木配水池 契約水量をもとに一定で受水（高田中継ポンプ場の送水ポンプを甘木配水池水位をもとに荒木浄水場（福岡県南広域水道企業団）で制御） ・四箇配水池 四箇ポンプ場の送水ポンプを四箇配水池水位をもとに運転制御
菊池川・諏訪川系	<ul style="list-style-type: none"> ・勝立配水池送水 水源センターで勝立配水池送水ポンプを運転制御（配水池水位制御） ・延命配水池送水 水源センターより宮原浄水場（フレッシュ・ウォーター三池）にポンプ運転制御を指示
清里水源地系	水源センターより送水ポンプを運転制御

【勝立配水池送水】

23:00 ~ 08:00	2 台同時運転（夜間電力利用、タイマー運転）
08:00 ~ 12:00	1 台運転（タイマー運転）
16:00 ~ 19:00 前後	1 台運転（停止予定時刻を 15:00 に宮原浄水場へ報告）

【延命配水池送水】

夏季以外は契約浄水量（18,721m³）を超えない範囲で運転、時間帯は任意
停止予定時刻を 18:00 に水源センターから宮原浄水場へ報告

表 - 1.2 残塩管理の現状

系 統	内 容
福岡県南広域水道企業団	<ul style="list-style-type: none"> ・甘木配水池系 荒木浄水場で次亜注入を行い、高田中継ポンプ場の送水ポンプ吐出側残塩濃度をもとに送水ポンプ吸込側で追加塩素（水質管理課指示により県南で運転・制御） ・四箇配水池系 四箇ポンプ場で次亜を水量比例注入。四箇中尾及び湯谷水質モニターの残塩濃度をもとに残塩濃度が低い場合は現地で注入率を変更。（水質管理課より指示）
菊池川・諏訪川系	<ul style="list-style-type: none"> ・延命配水池系 宮原浄水場で塩素ガス注入（水質管理課より指示） ・勝立配水池送水 宮原浄水場で塩素ガス注入（水質管理課より指示）
清里水源地系	清里総合ポンプ場で次亜注入（水質管理課より指示）

別紙 2 5 上の原浄水場の現状

1 . 監視体制

常時 2 名の 24 時間体制

2 . 相互連絡の時間帯 (24 時間体制)

宮原浄水場 上の原浄水場

水量変更の都度。

上の原浄水場 宮原浄水場

P A C 注入率変更時

3 . 連絡を要する水量変化等の取決め

送水対象の浄水場が宮原浄水場と共同浄水場になり、それぞれ $\pm 500\text{m}^3/\text{時}$ 程度の水量変更については 30 分程度前に事前連絡を行う必要があると考えられる。 $\pm 100 \sim 200\text{m}^3/\text{時}$ 程度であれば上の原浄水場への影響はないが、宮原浄水場も含めて考える必要がある。

4 . 送水量の時間変化

基本的には一定量を送水。(水量変更については 3 . 参照)

5 . 取水口のパトロール

週に 1 回。

6 . オイルフェンス設置状況

常設している。

7 . 使用薬品の注入要領

P A C

◇ 原水濁度 5 以上で注入開始する (浄水濁度は 3 以下を目指す。)

◇ pH が 8 を超えるときは P A C 注入により pH コントロールを行う (6 浄水 pH 8)

硫酸

施設なし。

水酸化ナトリウム

タンク No.2 のみ貯蔵。使用実績ほとんど無し。

8 . 送水停止の年間行事等

熊本県有明工業用水道配水管の洗浄

使用水量が少ないため管内に堆積物が多く、毎年盆の期間に一日半をかけて 6 箇所程度のドレン管により排泥作業を実施している。このときポンプ運転は通常通りであるが、金山分水場の水位を上げた運転となる。

ポンプ設備等の工事による減量運転

機器設置等の工事期間を長く取るために需要者に減量運転を要請することがある。

自家用電気工作物年次点検による送水停止

現在までのところ、送水停止の最長時間は 40 分程度であった。

災害等の影響

洪水で取水施設が浸水しポンプが停止し、需要者に減量依頼したことがある。